

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動（1999年11月～2000年4月）

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (Nov., 1999-Apr., 2000)

東京大学地震研究所

地震地殻変動観測センター

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

第1図に、伊豆半島とその周辺の震源分布図を、第2図に時系列を示す。伊豆半島東方沖では散発的に地震が起きているが静穏である。

1. 銭州海嶺の地震

12月18日より12月下旬にかけて神津島の南西沖20kmの銭州海嶺でM4.4を含む地震活動があった（12/18 15h49m 11.4km M4.4）。3月には、伊豆半島の南沖、神津島の西10kmの場所でM4.7の地震が発生した。震源は極浅い（3/10 9h36m 2.6km M4.7）。メカニズム解は南北圧縮軸の横ずれ成分を持つ逆断層である。

2. 神津島、新島付近の地震

12月4日から1月24日にかけて神津島の南沖で小さな群発地震活動があった。最大地震はM4.1である。また12月下旬には新島の西沖でM4.6を含む群発活動があった。この地震のメカニズム解は南北圧縮軸の横ずれ型である。4月には14日から15日にかけて神津島の北沖で小さな群発地震活動があった。M4.2の地震が2個発生している（4/14 21h53m 4.4km M4.2, 4/14 22h04m 4.8km M4.2）。

3. 伊東港の地震活動

1997年6月頃より発生している伊東港沖の地震活動は散発的になっている。

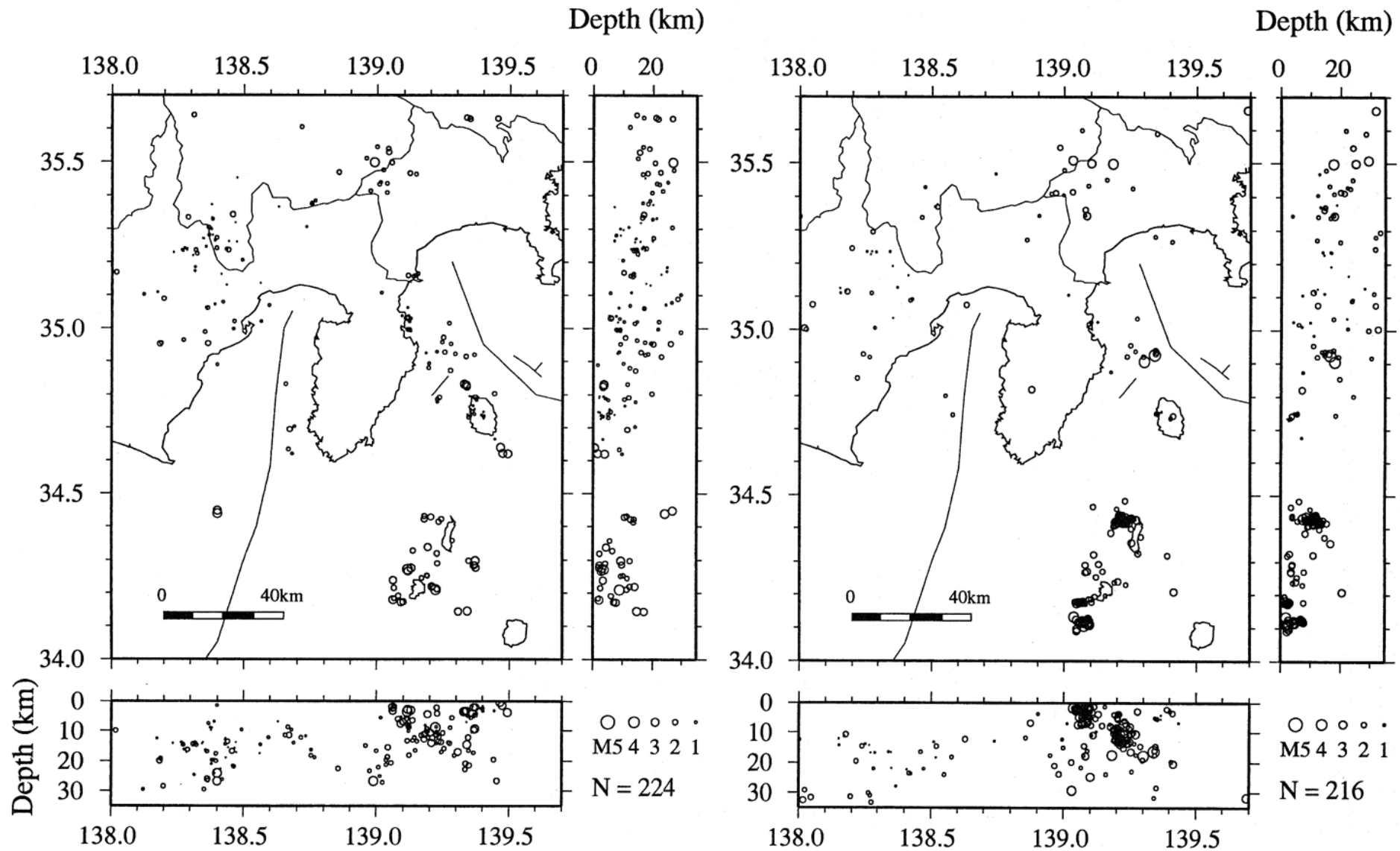
4. 伊豆半島東方沖の地震活動

12月に伊豆半島東方沖の群発地震域の西端でM4クラスの地震が2個発生したが群発はしていない（12/11 01h03m 17.9km M4.0, 12/31 12h37m 16.3km M4.3）。これらの地震のメカニズム解は南北圧縮軸の横ずれ型である。

（荻野 泉，萩原弘子）

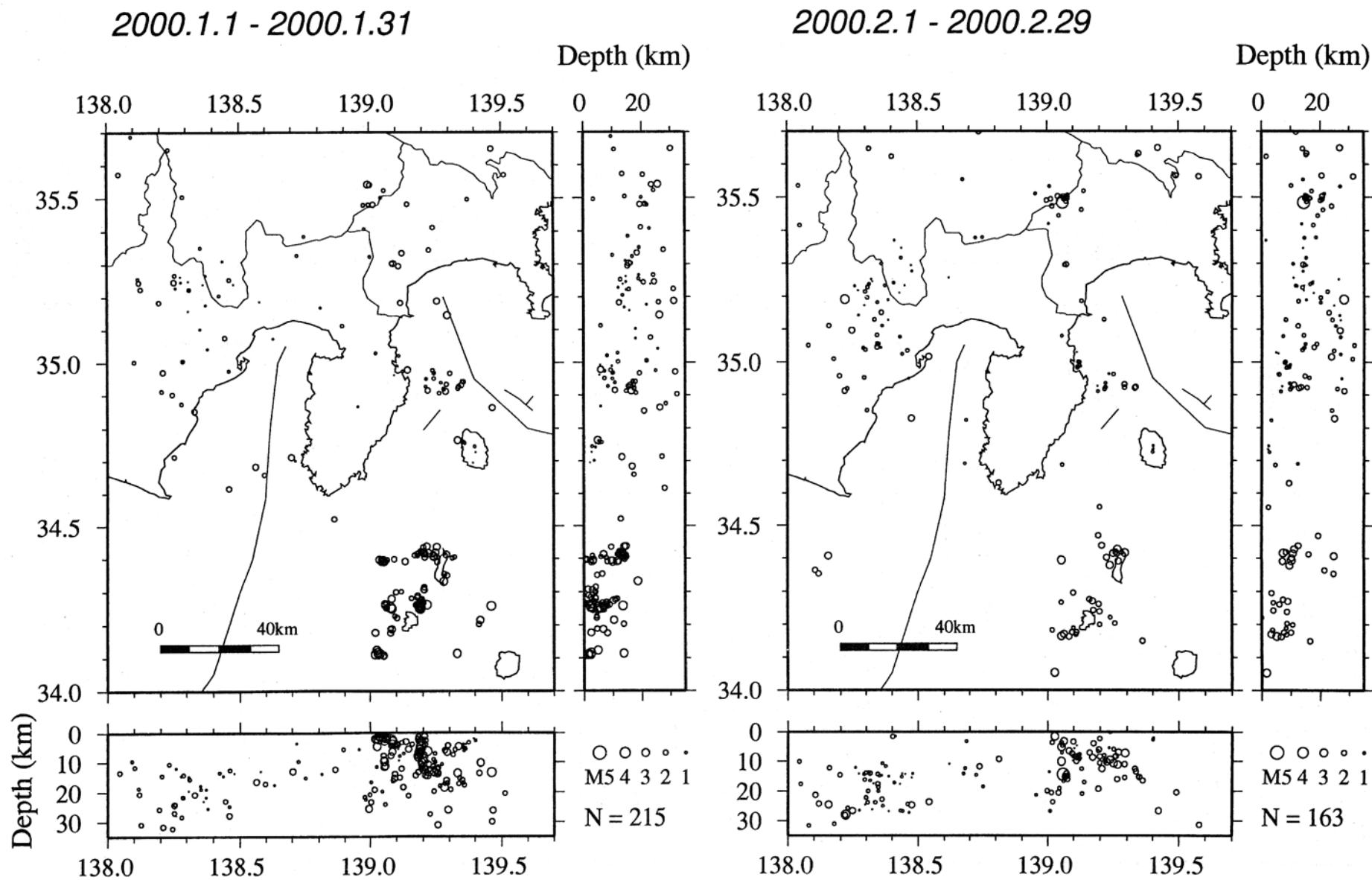
1999.11.1 - 1999.11.30

1999.12.1 - 1999.12.31



第1図-1 伊豆半島とその周辺の地震活動 (1999/11 ~ 1999/12)

Fig.1-1 Seismicity in and around the Izu Peninsula (1999/11-1999/12)

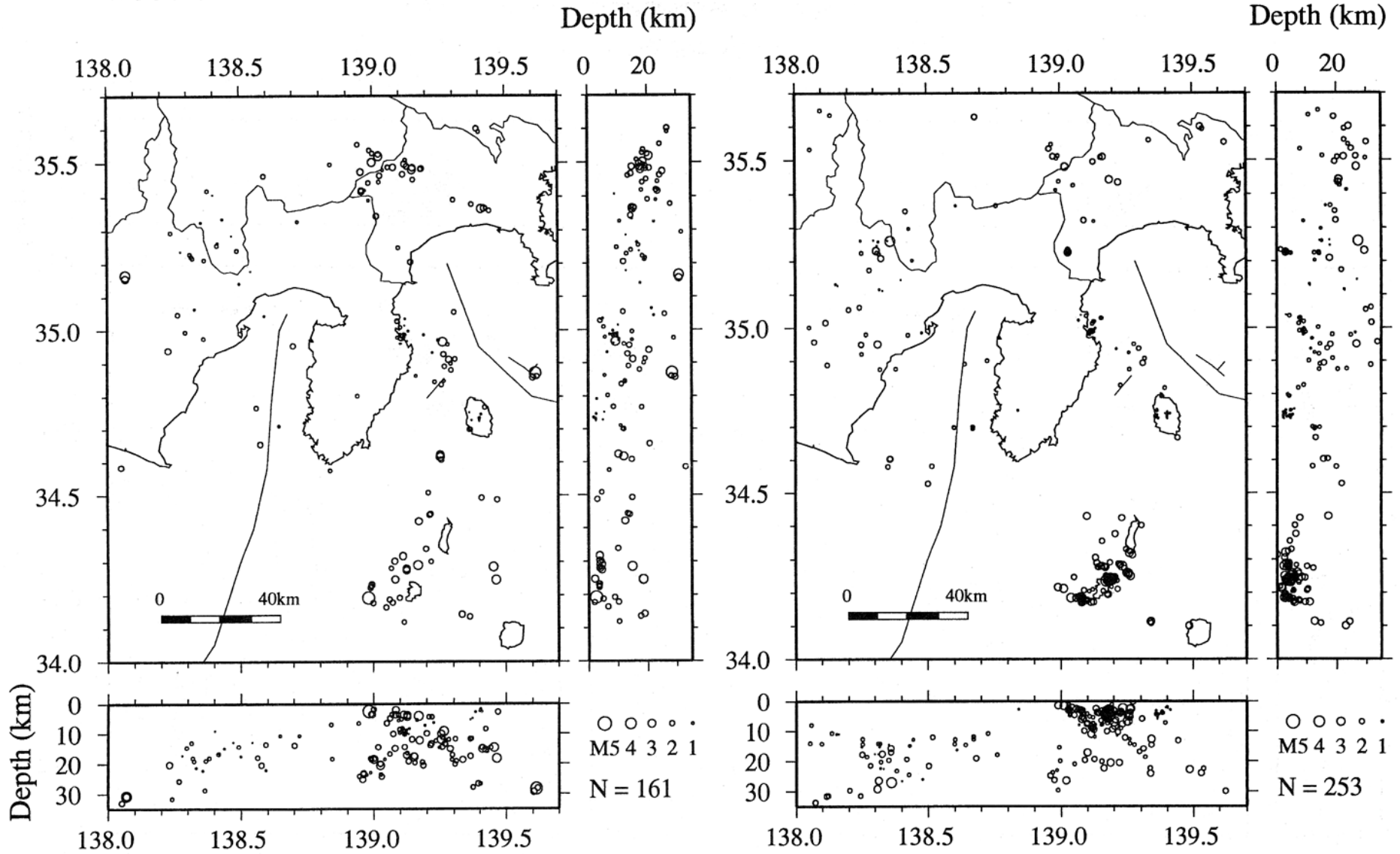


第1図-2 伊豆半島とその周辺の地震活動 (2000/1~2000/2)

Fig.1-2 Seismicity in and around the Izu Peninsula (2000/1-2000/2)

2000.3.1 - 2000.3.31

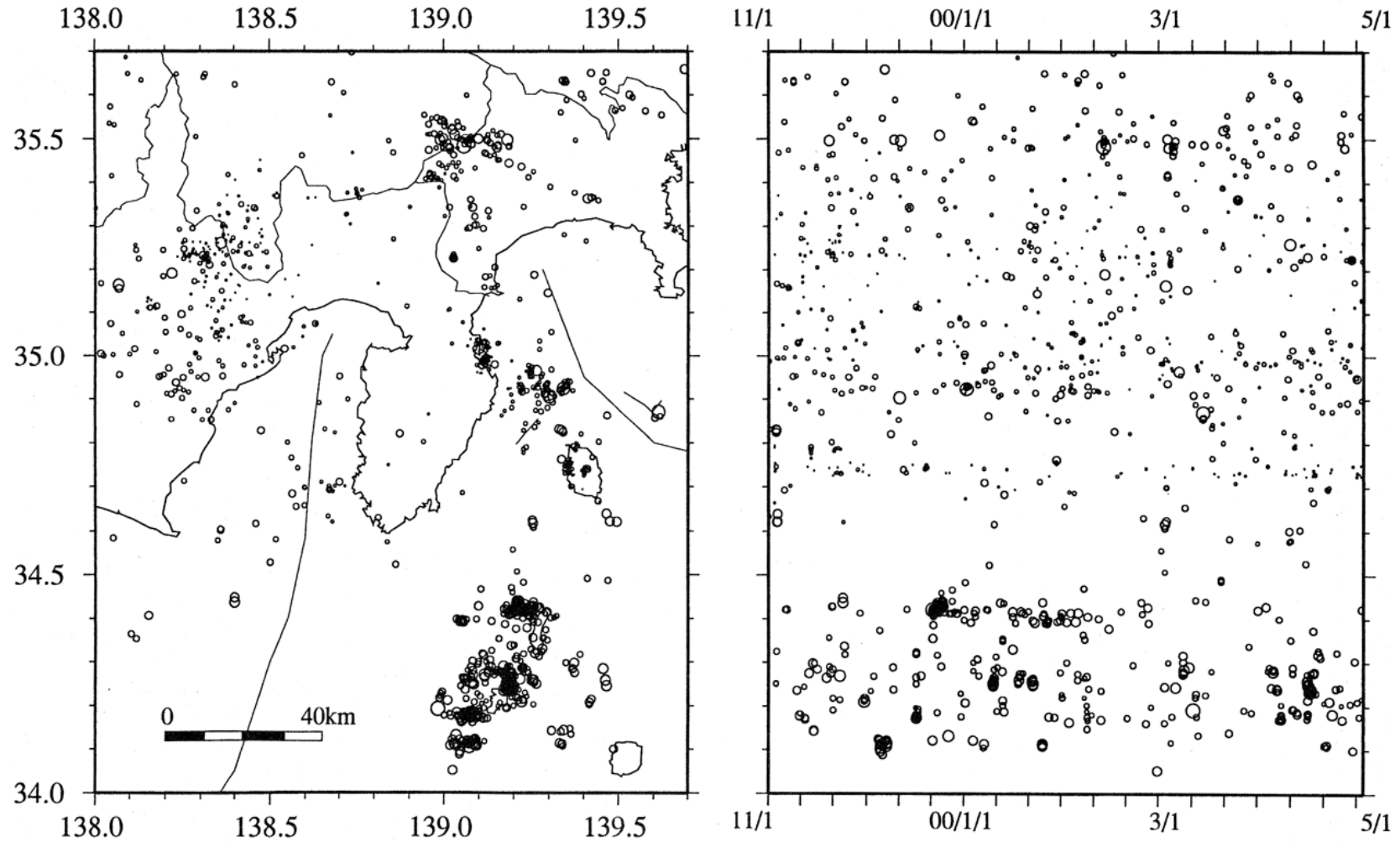
2000.4.1 - 2000.4.30



第1図-3 伊豆半島とその周辺の地震活動 (2000/3~2000/4)

Fig.1-3 Seismicity in and around the Izu Peninsula (2000/3-2000/4)

1999.11.1 - 2000.4.30



第2図 伊豆半島とその周辺の時空間分布図 (1999/11 ~ 2000/4)

Fig.2 Time-Space distribution in and around the Izu Peninsula (1999/11-2000/4)